

市議会だより

12月定例会

平成28('16)年2月1日発行



桶川西小では、各委員会で児童集会を開き、全校児童に知ってほしいことや注意してほしいことを発表します。
写真は、代表委員の質問に対し、○×で答える様子です。

主な内容

- ◎議長・副議長選挙結果、一部事務組合の構成、各委員会の紹介
2～3ページ
- ◎審議された議案の内容
4～5ページ
- ◎審議された議案の結果
5ページ
- ◎一般質問（18人）
6～14ページ
- ◎議会報告会 15ページ
- ◎議会からのお知らせ
編集後記ほか 16ページ

◆ 12月定例会日程 ◆

- | | |
|--------|--|
| 12月11日 | 開会、議長選挙、副議長選挙、議席の指定、常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、桶川北本水道企業団議会議員の選挙、上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員の選挙、埼玉県央広域事務組合議会議員の選挙、埼玉中部資源循環組合議会議員の選挙、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び表決 |
| 15日 | 総務常任委員会 |
| 16日 | 民生経済常任委員会 |
| 17日 | 建設文教常任委員会 |
| 18日 | 一般質問（糸井・渡邊・岡安・岡野・保坂・仲又） |
| 21日 | 一般質問（相馬・岩崎・佐藤正・星野・市川・加藤） |
| 22日 | 一般質問（江森・新島・新井・島村・佐藤洋・北村） |
| 25日 | 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明・質疑・討論及び表決、議員提出議案の上程・質疑・討論及び表決、閉会 |

議長 白田喜之氏 副議長 仲又清美氏

を選出



議員改選後初めての議会のため、12月定例会初日の11日に議長選挙が行われ投票の結果、白田喜之議員が当選しました。

続いて副議長選挙が行われ投票の結果、仲又清美議員が当選しました。選挙の結果は、次のとおりです。

議長選挙

白田喜之 15票
佐藤正広 2票
(無効投票 2票)

副議長選挙

仲又清美 15票
佐藤正広 2票
(無効投票 2票)

就任のごあいさつ



議長 白田喜之



副議長 仲又清美

市民の皆様には、日頃より市政並びに市議会に對しまして、温かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

私たちは、昨年の12月議会において議員各位からのご推挙をいただき、議長、副議長という重責を拝命させていただくことになりました。その責任の重さに身の引き締まる思いであります。微力ではございますが、本市の発展と市民福祉の推進

に向けて言論の府としての議会の公正で円滑な運営、政策立案能力の育成に努めてまいります。

少子高齢化が急速に進む中で、将来にわたり活力ある社会を維持していくためには、人口減少に歯止めをかけ、地域で住みよい環境を確保していくことが重要です。地方創生、地方分権を旗印に、本市でも、首都圏40キロ圏、交通の要衝である地の利を生かした企業誘致や道の駅整備などを通じて、活気あふれる交通拠点都市として更なる魅力

あるまちづくりを執行機関と共に推進してまいります。

また、地域住民が互いに協力し、助け合う「共助」の考えに基づいた地域コミュニティの実現を市民の皆様と協働して、目指してまいります。

社会情勢の変化を的確に判断するとともに、市民の声をまず第一と考え市政に反映し、身近な開かれた議会づくりに努めてまいります。

今後とも、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一部事務組合議会議員の構成

上尾・桶川・伊奈衛生組合議会	桶川北本水道企業団議会	埼玉県中央広域事務組合議会	埼玉県中部資源循環組合議会
星野 充生 佐藤 洋 糸井 政樹 相馬 正人 岩崎 隆志	佐藤 正広 新島 光明 保坂 輝雄 島村 美貴子 加藤 たかし	北村 文子 岡安 政彦 新井 孝雄 市川 幸三	江森 誠一 仲又 清美 白田 喜之

各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員の選任や、上尾・桶川・伊奈衛生組合議会、桶川北本水道企業団議会、埼玉県中央広域事務組合議会、埼玉県中部資源循環組合議会の各議員選挙が行われ、その結果は次のとおりです。

改選後、新たに結成された会派は、次のとおりです。(太字は代表者)

《新政会》

市川 幸三 岡野千枝子
岡安 政彦 糸井 政樹
相馬 正人 白田 喜之
加藤 たかし

《新風クラブ21》

佐藤 洋 江森 誠一
新島 光明 島村 美貴子
新井 孝雄

《公明党》

仲又 清美 保坂 輝雄
岩崎 隆志

《日本共産党》

佐藤 正広 星野 充生

《無会派》

北村 文子 渡邊 光子



各委員会の委員が

決まりました

12月定例会において、総務常任委員会、民生経済常任委員会、建設文教常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の各委員が選任されましたので、紹介します。

任期は、平成29年12月までの2年間です。

◎委員長 ○副委員長



総務常任委員会

後列左から
臼田 喜之 佐藤 洋 新島 光明
前列左から
渡邊 光子 ◎保坂 輝雄 ○相馬 正人



建設文教常任委員会

後列左から
新井 孝雄 岡安 政彦 星野 充生 岡野千枝子
前列左から
糸井 政樹 ◎江森 誠一 ○岩崎 隆志



民生経済常任委員会

後列左から
仲又 清美 佐藤 正広 北村 文子
前列左から
市川 幸三 ◎加藤ただし ○島村美貴子



議会だより編集委員会

後列左から
新井 孝雄 星野 充生 岡野千枝子 渡邊 光子
前列左から
臼田 喜之 ◎相馬 正人 ○保坂 輝雄 仲又 清美



議会運営委員会

後列左から
相馬 正人 保坂 輝雄 佐藤 正広 島村美貴子
前列左から
市川 幸三 ◎糸井 政樹 ○新島 光明

審議された議案の内容

平成27年12月定例会は、12月11日から12月25日まで15日間開催されました。

今定例会では、市長提出議案11件、議員提出議案1件が提案され、審議されましたのでお知らせします。

補正予算

一般会計

第58号議案

平成27年度桶川市一般会計補正予算（第3回）

歳入については、補正予算の財源調整などによるもので、歳出については、年度途中で制度改正等があったものや事業の進捗により必要となったもので、総額で7,506万円を増額するものです。

主な事業は次のとおりです。

○総合運動場整備工事
1,300万円

主な質疑

「総合運動場の冠水被害の状況と今後は。」との質問に対し「平成21年以来の大規模冠水です。大きな大会等できる貴重な場所ですので、維持管理を図り、大事に使っていきます。」とのことでした。

「教育委員会事務局解体工事設計費の積算根拠と工期、また、アスベストの心配は。」との質問に対し「県設計管理委託料算定基準に基づき市職員が算定しました。工期は8月から4カ月半程度で、その際、アスベスト含有建材の分析調査も行

○旧教育委員会事務局庁舎解体工事設計等委託費 250万円

○新庁舎建設事業継続費 39億5,800万円

います。」との回答です。

「新庁舎建設事業継続費の内容は。」との質問に対し「新庁舎建設までに3カ年要するため、継続費として計上したもので、平成28年度に8億円、29年度に31億5,800万円の建設費用を見込んでおり、また、これとは別に備品購入やその他の工事、駐車場用地の費用も含め総額で46億9,800万円（27年6月基準日）とのことでした。

特別会計

第59号議案の介護保険及び第60号議案の後期高齢者医療特別会計は人件費の増額に伴う補正がありました。

条例等

第61号議案

証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選出方法が選挙制から議会の同意を要件とする市長の任命制に変更されたことに伴い、農業委員会等に関する法律第11条において、公職選挙法を準用するとしていた規定を削除し、字句の整理等を行うものです。

第62号議案

桶川市庁舎建設基金条例の一部を改正する条例

庁舎建設基金について、新庁舎建設に係る什器備品の購入などについても基金を充てることができるよう、基金の設置目的及び処分目的に関する規定について改正するものです。

第63号議案

桶川市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、地方税の徴収の猶予又は換価の猶予に関する事項が規定され、地方税法に分割納付の規定が追加されたことで、各地域の実情に応じた基準を条例で定める仕組みを見直すことで、納税者の猶予制度（分割納付含む）が利用しやすくなるものです。

第64号議案

桶川市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に必要となる次の3つの事項について規定するものです。

①市の責務に関すること

②個人番号の利用範囲に関すること

③特定個人情報情報の提供に関すること

第65号議案

桶川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の公選制を廃止し、議会の同意を要件に市長の任命制となったこと、また、農地利用の最適化の推進に関する事項が必須業務となったことから、農業委員とは別に農地利用最適化推進委員を設置することが義務付けられました。

そのため、これらの委員の定数を政令の基準に従い市の条例で定めるところが規定されたことから、農業委員の定数を11名に変更し、農地利用最適化推進委員の定数を新たに8名と規定するものです。

第66号議案
市道の路線の認定について

上日出谷地内の5路線については、宅地の開発造成地内（日出谷愛宕公園の西側）の道路で、市に帰属されたので、市道として認定するものです。

加納地内の4路線については、開発区域（加納文化村）に隣接した道路用地の寄附が完了したので、市道として認定するものです。

第67号議案
市道の路線の廃止について

川田谷の圏央道建設事業地内（桶川北本インターチェンジ）の道路1路線について、建設事業地への編入に伴い廃止するものです。

人事関係
監査委員に
佐藤洋氏を同意

議員提出
議案

議第3号議案

安保法制の強行採決に抗議し、違憲部分の白紙撤回を求める意見書

意見書の主旨は、次のとおりです。

（略）

今般、強行に成立させた法案について、多くの憲法学者が違憲であると断じているが、政府はそれに対し説得力のある反論、説明をしていない。

そもそも、国民的議論を欠いたまま、一内閣が意図的・便宜的に憲法解釈を変更したことは立憲主義に対する重大な侵害である。

また、国会審議を通じ、集団的自衛権の行使を認める「新三要件」は曖昧で、十分な歯止めとならないこと、政府が集団的自衛権を行使して対応し

なければならぬとする事例も、蓋然性や切迫性が認められないことが明白になったにもかかわらず、国民の6割が反対し、8割が説明不十分とする法案を強引に成立させたことは民主主義に対する挑戦であり、国民の声を無視した暴挙にほかならない。あいまいな新3要件に基づく集団的自衛権の行使は、専守防衛や海外派兵の禁止という憲法9条の平和主義の根幹を揺るがす、戦後70年平和で豊かな日本をつくるために努力されてきた多くの先人たちに対する裏切り行為であり、日本を引き継ぐ未来の日本人に大きな禍根を残すものであり、断じて容認できない。よって、政府に安保法制の違憲部分を白紙撤回し、立憲主義に基づいた民主的な政権運営を行うよう強く要請する。

以上のことについて議員提案がありました。賛成少数で否決となりました。

12月定例会で審議された議案とその結果

市長提出議案

○は賛成 ×は反対 キは棄権 ※議長は採決に加わらない

議案 番号	議 案 名	議決結果	新公会					新風クラブ21					公明党		日本 共産党	無党派					
			市川 幸三	岡野 千枝子	岡安 政彦	糸井 政樹	相馬 正人	臼田 喜之	加藤 ただし	佐藤 洋	江森 誠一	新島 光明	島村 美貴子	新井 孝雄	仲又 清美	保坂 輝雄	岩崎 隆志	佐藤 正広	星野 充生	北村 文子	渡邊 光子
第58号	平成27年度桶川市一般会計補正予算（第3回）	原案可決	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第59号	平成27年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第3回）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号	平成27年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第62号	桶川市庁舎建設基金条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号	桶川市税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	桶川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
第65号	桶川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
第66号	市道の路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第67号	市道の路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第68号	監査委員の選任について（佐藤 洋氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

議員提出議案

議第3号	安保法制の強行採決に抗議し、違憲部分の白紙撤回を求める意見書	否決	×	×	×	×	×		×	○	○	○	キ	○	×	×	×	○	○	○	○
------	--------------------------------	----	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

一級河川江川の治水対策の その後について

糸井 政樹

複合式

問

本年7月16日台風11号の影響により江川が氾濫し、通学途中の女子高校生が命をおとすという大変痛ましい事故が発生した。当市議会9月定例会においても多くの議員が一般質問をしている。その後、多方面において動きがあったが、改修について何点か伺う。

昭和58年に千人以上の署名とともに江川河川改修についての請願書が地元から提出され、同年9月に本会議で採択された。それから30年以上改修が進まなかった原因は何であったのか伺う。

答

江川改修事業は平成3年に用地買収に着手し、平成6年には一級河川に指定されました。平成11年には工事に着手しましたが、平成14年以降は用地買収、工事とも実質止まっている

状況です。この背景には従来の治水、利水に環境を加えた河川制度となり、江川の改修については、治水事業の推進と自然環境の保全との両立が課題となっており、思うように進んでいない状況となっています。

問

現時点での治水用の土地買収の状況は。

答

当市が事業主体となっている区間の当初計画における用地買収面積に対し、約97%が取得済みになっています。

問

調整池の整備や宮下樋管の改修、また、ポンプで揚げて水を排出する等、どのような手当てを行ったら洪水が無くなるのか、当市の考えを伺う。

答

治水対策は宮下樋管の改修、調整池、排水機場などを含め

た河川施設の整備、また、流域での雨水対策など、さまざまな手法の組み合わせにより行うものです。

改修計画策定後は、実現可能な所から事業が行われるよう国、県を含め、関係機関と連携、協力を図っていきたいと考えています。

問

自然保護、動植物の保護も大切なことだと思う。しかしながら30年以上も前から、この地域は大雨が降るたびに道路が冠水して通行止となり、通勤、通学の方々や市民生活の中での移動等、大変迷惑をされている。

特に西中学校は、市内の小中学校の生徒の中で、江川を渡って通学している子供たちがいる唯一の学校である。今までの不便や危険を除去すること、安心安全な市民生活をつくるためにも江川の改修はスピード感を持って前に進んでいってほしいと考える。

国民健康保険保険 補助金500円の引上げ (9月議会に続く) 渡邊 光子

複合式

問

国民健康保険養所補助金は500円削減され2千500円だ。28年度では元の3千円に復活するのか。その影響を9月議会に引き続く問う。

答

現在、予算要求の段階で500円増額の1回3千円を提出しています。国民健康保険700人分で35万円の増額。一般会計における後期高齢者が600人で30万円の増額。合わせて28年度は75万円の増額となります。

問

川田谷弥勒院前の市道一〇五号線に接道する西側の地権者の一部の方達が、U字溝敷設整備を首を長くして待つ。今後の整備を問う。

答

整備には道路後退用地の寄附、ブロック塀等の支障物件の除却が必要ですが、関係住民の方は排水処理に苦慮していますので、流末

問

の接続が可能となった路線の東側一部は、平成26年度に側溝整備を行いました。条件の整った西側の一部は、今年度3月末で整備完了予定です。

問

健康長寿いきいきポイント事業の対象に予防接種も加えてはどうか問う。

答

ポイント事業は、介護保険制度の中での介護予防事業として位置づけられ、対象は65歳以上です。対象の予防接種はインフルエンザと肺炎球菌があり、既にいきいきポイントの対象です。

問

川田谷市場自治会館前の市道の信号機設置や学童待機所整備等について進展があったようだが、9月議会以後の経過を問う。

答

横断歩道、信号機の設置の要望を地元から受けて、子供や地域住民の安全を図る観

点から、これまで市としても強く警察に安全対策を要望してきました。横断歩道、信号機の設置には、川田谷市場自治会館から横断歩道で渡った先の、現在は畑の一部に学童の待機所の設置が条件でした。渡邊議員の協力で、地権者から畑の一部を待機所用地として提供する承諾が既に得られていて、9月議会後に県公安委員会が開催され、横断歩道の設置が決定した旨を上尾警察署を通じて連絡がありました。現在、待機所用地の買収交渉を行っており、契約は年明けの1月頃の予定です。契約後の待機所用地の工事完了後、3月には横断歩道の設置完了予定です。



桶川駅周辺整備について

岡安 政彦

複合式

問 駅東口エレベーターとトイレの設置の進捗状況について伺いたい。

答 設置にあたりましては、施設全体を現在の建築基準に適合するよう改善する必要があります。その方法や範囲、また、これに要する費用といった基礎的な情報を把握するため、12月末まで委託契約により、現況等の調査を実施しているところとです。

問 エスカレーターの利用者の多い時間帯に、上り下りを変えて利用することは可能か伺いたい。

答 上下運転は可能ですが、18年前に試験的に数日間、切り替え運転をさせていただきましたが、利用された方から色々不評であったことから、従来どおりに運転をしているところとです。

ろです。

桶川市の震災対策について

問 川田谷地区は、とても広い地区であり、指定避難場所について片寄っていないか伺いたい。

答 現在、川田谷地区の指定避難場所は川田谷小学校、桶川西中学校、生涯学習センター、農業センター、城山公園及び桶川西高校となっており、若干川田谷地区の中央に集中していますが、指定避難場所としての機能を満たすには、施設面や敷地面など、ある程度の規模が必要となりますので、適正に配置しているものと考えています。

問 各町会の備品倉庫の場所・備品内容把握しているのか伺

いたい。

答 あくまで自主防災組織として、それぞれ自主的かつ自体的に運営していますので、把握していないのが現状です。

問 指定避難所に高等学校が含まれているが、学校側との連携はとれているのか伺いたい。

答 平成27年8月30日に実施した九都県市合同防災訓練の際には、桶川高等学校及び桶川西高等学校に、市との災害時の連携強化のための救済物資受け取り訓練に参加をしていただきました。今後についても、いざ災害が発生した際に混乱が生じないように、今まで以上に連携を図っていきたくと考えています。

朝日小学校放課後児童クラブについて

岡野 千枝子

一括式

問 今年度、校地内の設計をしているが、進捗状況はどうか。

答 規模はどのくらい、児童は何人収容できるのか。校地外にある施設の跡地利用はどのように考えているのか。

問 法改正後の高学年の利用者はどのくらいいるのか。

答 建築予定地の測量と建物等の設計委託を実施しました。引き続き来年度の建設に向け、関係部署と協議を進めていきます。

問 規模は木造平屋建て、定員80名を受け入れられる規模を予定しています。校地外にある施設の跡地利用は、現在、地元の朝日3丁目自治会から自治会館として使用したい旨の要望があり、利用方法も含め検討していきま

問 改正により6年生まで入室が出来ます。現在の市内の利用者は5年生が4名、6年生はいません。

理科支援員を3学期にも配置

問 小学校には理科支援員が市費で4名、2学期のみ配置されているが、理科の実験を体験し興味を持ち、学習意欲を向上させるためにも、3学期への配置はできないのか。

答 本市の子供たちが科学に興味を持ち、将来科学的な分野で活躍していく人材を育ていくためにも、理科授業における実験や観察を多く設定することにより、理科好きな子供が増え、学力向上にも役立っているとの声が現場より上がっています。このような

教育効果を踏まえ、理科支援員の活用方法や学期を超えた配置期間、配置人数等を検討します。

小中学校のトイレについて

問 全小中学校にク

ラーが設置され、子供の生活環境は良くなったが、トイレの改修工事は一部改修になった状態で、今後のトイレの改修工事の予定はあるのか。

答 小中学校のトイレの大規模改修工事は、平成14年度に工事した加納小学校のトイレ改修工事です。この工事で以降は、行っていないが、小規模なトイレ修繕は日常的に行っています。今後の工事予定は、平成27年度に教育委員会策定を進めている、学校施設老朽化対策基本計画の中で、小中学校のトイレ整備について、総合的かつ客観的な評価を行い、順次、計画的に整備を行っていきます。



企業誘致の推進について

保坂 輝雄

複合式

問

圏央道の埼玉県内開通により、桶川市は企業にとって魅力的な場所へ変貌したことに伴い、桶川加納IC周辺の現在の企業誘致の進捗状況について伺う。

答

加納原地区では、地権者協議会、エム・ケー株、本市の三者で基本協定書を締結し、企業誘致に向けた開発に取り組んでいます。

それぞれの役割分担は、

地権者協議会が本事業に同意し、事業遂行へ協力すること、エム・ケー株が企業の誘致や許認可の取得手続、用地取得の斡旋等です。また、本市の役割は関係機関との協議調整、都市計画策定、地権者同意の取得支援、企業誘致活動等です。

問

通常、自治体が工業団地等を建設して自ら企業誘致を行うことが一般的だが、地権

者と民間開発会社が合意

し、本市が協力するとい

う民間活力を活用した方式は大いに評価できる。

答

区では、加納原地区と同様の開発を目指していますが、地権者の合意が得られていないため、引き続き合意形成に向け努力していきます。

その他開発可能な土地のほとんどは農地であり、

農地法等の規制により、企業誘致の開発に相応の困難が伴うため、思うように進んでいません。

桶川版観光ガイドブック発行について

問

昨年10月31日の圏央道開通式典で配布された資料の中に、周辺自治体の無料の観光

ガイドが封入されていた。

北本市、白岡市、久喜市は立派な小冊子だったが、本市は観光協会発行の「桶川散策マップ」と

いう1枚の地図を折りたたんだもので、多少、見劣りがするよう感じた。

そこで、他市に関し、国や県から何らかの補助があつたのか伺う。

答

北本市と白岡市は、国の緊急雇用補助金を活用し、作成したと伺っています。

問

本市は他市より豊富な観光資源を有しているにもかかわらず、情報発信力が不十分であると痛感した。

補助金が活用できるなら、予算計上し、桶川版観光ガイドブックの製作を提案するが、どうか。

答

本市のPRの一環として、他市同様、観光ガイドブックは必要であると考えます。

したがって、内容や財源等について、調査を行い、前向きに検討していきたいと考えます。

安心・安全で魅力あるまちづくりについて

仲又 清美

一括式

問

防災機能を持つ新庁舎の早期建設は、オリンピック等の影響でコスト面も心配だ。当初の計画通り平成30年5月に開庁できるのか。

答

安心・安全な庁舎を早期に建設することは、議会や市民からの要望です。現在、災害時も継続して使用できる庁舎として実施設計を進め、総合評価方式で業者選定を行うため、平成28年2月頃公告を行い、

問

契約決議後速やかに解体工事、本体工事に着手して職員一丸となり平成30年5月の開庁を目指します。

答

駅東口バリアフリーの進捗状況は。バリアフリー化は、駅舎も含め築後30年以上経過した施設を現在の建築基準に適合させるには、現在、調査中ですが耐火性能の引き

問

上げが大きな課題となりますので、今後もエレベーターの早期実現に向けて努力していきます。

答

エスカレーターを増設はどうか。費用負担はどのくらいか。エスカレーターを増設も既存施設全体の建築基準への適合が必要です。費用も約6千600万円程度、容易に設置ができないと考えます。

問

坂田東西集合保留地活用について建設文教常任委員会で岩手県紫波町の官民複合施設を視察し議会でも参考になるよう報告した。進捗状況と今後の方向性は。

答

坂田西特定土地区画整理組合が所有する保留地約4千400㎡について、不動産鑑定評価に基づき、組合と購入に向けた協議を行った後に売買契約を締結します。本年度中に計画地の全域

子育てしやすいまちづくりについて

問

中央児童館早期建設に向けた今後の方向性は。

答

児童館は、現在の活動の拠点として、また、安全な居場所として設置しています。今後は、第五次総合振興計画や子ども・子育て支援事業計画の中で高崎線西側にも同様な児童館の整備を検討しているところです。

市内の公園について

相馬 正人

一括式

問 市内の公園の整備状況について伺いたい。

答 市内には24ヶ所の都市公園があります。今後は、区画整理事業を施行している上日出谷南地区に4公園、坂田西地区に5公園、下日出谷東地区に4公園の合計13公園が整備される予定です。

問 坂田西地区画整理地内に公園の設置が行われるようだが、どのような計画になっているのか。

答 (仮称)坂田1号公園は、区画整理組合において整備し、それ以外の公園については、市で計画的に整備を進めていきます。

問 維持管理として老朽化に対する整備補修はどのように行っているのか。

答 市内の都市公園

いるのか。

答 本年度中には協議を終え、速やかに組合と土地の売買契約を締結し、坂田保留地の全域が市の所有となる見込みです。

問 土地取得後の予定についてはどのようになっているのか。

答 現在土地の取得手続きと並行して民間活力の導入に向けた事業手法について検討しているところです。具体的には、市有地を、進出する民間事業者に貸し付け、その地代収入を建設される公共施設やその運営に必要となる経費に充てる手法などについて検討をしているところです。

問 今後は、平成27年度中に具体的な民間活力の事業手法をまとめ、翌平成28年度には進出する民間事業者の選定を行い、その後の建設工事を経て、平成30年度中にはサービスを開始したいと考えています。

坂田保留地について

土地取得状況はどのようになっているのか。

地域で取り組む「ひきこもり」の社会復帰支援について

岩崎 隆志

一括式

問 不就労者、ひきこもりの増加は、地域の活性化を妨げ、高齢家庭の負担となっている。実態を把握し支援を。ひきこもりに至るには経済的困窮や病気、障害、また人間関係などさまざまな要因が考えられます。「生活困窮者自立支援事業」では、特に就労支援に重点を置き、一般的な就労支援と日常生活や社会生活など就労に向けた準備としての就労準備支援の2つの事業を実施しています。相談等については、家庭訪問を中心とした個別支援に力を入れています。相談者の状況に合わせて対応していきたいと考えています。

問 今後の課題は。本人や家族が直接相談に来られることは少ないものと考えていますので、広報やホ

「道の駅おけがわ」について

問 第2回アドバイザー会議の内容は。川田谷地区を中心とした観光資源や地域で活動されている方との意見交換を行いました。本会議では、道の駅をきっかけに桶川をよくしていく、盛り上げていくという情熱や熱意を持った人材や若い人の集め方が課題であるといった懸案事項も挙げられました。

問 学生によるインターシップの導入を。

答 地域活性化の担い手となる人材を育成、確保するとともに、道の駅が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるための有効な方策であると考えています。

問 その他の進捗について。

答 農業、商工業、地域連携の分野別にワーキングチームを組織しました。今後は、道の駅にかかわることが想定される生産者、事業者などを巻き込み、地域の力を結集し機運を高めていく必要があると認識しています。



国民健康保険税の引下げを

佐藤 正広

一括式

問 国の公費拡充で桶川市への支援額はいくらか。

答 平成27年度より低所得者を対象に国等から合計約2億3千600万円が支援されます。平成30年度より、倍額の支援が見込まれます。

問 国の支援と一般会計からの繰り入れで保険税引下げはできないか。

答 一般会計からの繰り入れを増やすしかないわけですが、昨年度は約2億3千万円の法定外繰り入れをしており、税の公平性の観点から難しいと考えています。

問 一人当たり1万円の引下げに要する費用はどれ位になるか。

答 現在の課税者が2万1千732人いるので、2億1千732万円の歳入減、さらに、国の負担金も約5千400万円減額

され、合計で約2億7千200万円の歳入減が見込まれます。

西側大通り線の交通安全対策の強化を

問 速度制限を40kmに引き下げられないか。

答 速度規制は、埼玉県公安委員会の権限で、実勢速度を勘案し決定したと伺っており、そういった経緯からも引下げは難しいと考えます。

問 主な交差点への信号機設置を。

答 西側大通り線は警察協議の上で開通し、信号機設置についても以前から要望しており、今年10月には西小、日出谷小付近2箇所の設置と主要箇所への一時停止や横断歩道が設置されたため、現段階では難しいと考えますが、引き続き

き要望していきます。

市内循環バス路線の拡充、改善を

問 市長の公約であり、第五次総合振興計画での課題となっているが、検討状況、進捗状況は。

答 平成28年度に市内循環バスの全体的な見直しを予定しています。交通空白地帯の解消、交通弱者のための公共交通となるよう見直します。

問 利用者アンケートや地域ごとの要望を聞くなど市民ニーズの把握を急ぐべき。

答 これまでに寄せられた要望や課題をまとめ、28年度に予定している全体的な見直しの中で、アンケートなどにより幅広くニーズの把握に努めてまいります。



駅東口エレベーター・トイレ設置について

星野 充生

複合式

問 エレベーターに關しては、日本共産党が10月27日に市長宛に要望書を提出した。10月25日にご高齢の方が階段から落ちて怪我をした事故が起きた。一刻も早く設置しなくてはならない。現在の状況を聞く。

答 駅舎も含めて既存の施設全体を現在の建築基準に適合させるよう改善する必要があります。その方法や範囲、またこれに要する費用といった基礎的な情報を把握するため、12月末までの委託契約で現況等の調査を実施しているところです。改善に当たりましては、耐火性能の引き上げが大きな課題として想定されており、検討の過程におきましては、エレベーター等の設置を先行し、その後に必要な改修を順次計画的に実施する手法なども

問 視野に入れ検討を進めてきたところです。

答 具体的な計画のめどは立っているのか。

問 まだめどは立っていない状況です。10月の事故は、長年市民の声を無視し続けた結果と考えられる。あつてはならないことが起きてしまった。そのことをJR及び市は認識しているのか。市はそのうえでJRと協議を行っているのか。

答 10月の事故につきましては、そのことをJR及び市は認識しているのか。市はそのうえでJRと協議を行っているのか。

問 10月の事故につきましては、その詳細をこちらのほうでは十分に把握はしておりません。引き続きJRと協議を重ね、早期の実現に向けてさらに努力を重ねていきます。

学校教育環境改善について

問 30人学級についてどのように考えているか。

答 学級の小集団化は、教師が子供たちと向き合う時間を確保し、きめ細やかな指導を行うための有効な手段の一つです。一方、心身の発達や教科の特性を考慮しますと、社会性の育成や互いに切磋琢磨する場として一定規模の集団による教育が効果的な場合もあります。

問 学校の和式トイレの使い方を知らない子どもがいること、トイレにいきたがらず、ずっと我慢する子どもがいることについて、どう考えているか。

答 子どもたちに不便をかけてしまっていることについては、憂慮しなければならぬことです。子どもたちのトイレの利用状況について、学校を通して丁寧に聞き取り調査を行い、トイレの洋式化を進めたいと考えています。

桶川市の未来像と課題について

市川 幸三

一括式

問 桶川市の人口推計について。

答 現在の人口は、7万5千52人です

が、これまでの推移から単純推計すると、平成40年には7万人を割り込み、平成52年には約6万2千人、平成70年には約5万人まで減少すると推測します。

問 財政規模の展望について。

答 社会保障関連経費は、人口構造の高齢化に伴い年々増加し、少子化対策や公共施設長寿命化対策でも一層の歳出の増加が予想されます。

問 現時点からの対応は。

答 人口減少社会に入っていく中で、15歳以上65歳未満の生産人口の減少により、市税の減収が予想されるため、現在、人口減少対策として、桶川市まち・ひと・

しごと創生総合戦略の策定作業の進行中です。

道の駅について

問 道の駅の進捗状況は。

答 一体型・道の駅整備の基本計画案

による施設整備やゾーニング方針を踏まえ、市が整備する施設と、道路管理者が整備する駐車場、トイレ等と調和が図られた整備計画の策定に取り組んでいます。

整備計画では、区域及び市の整備範囲や上尾道路からのアクセス性を踏まえた土地利用等について調整するとともに、アドバイザー会議の意見等を参考に、計画を精査していきます。

市道65号線について

問 改修時期の見直しは。

答 65号線は、市が圏央道上尾道路工

事の特設車両の通行許可をしました。許可期間終了後、道路の破損状況について国と現況立会いを行いました。その影響を明確に特定するのが困難であったため、国から影響路線としての対応がなされませんでした。

問 しかし、市の修繕計画の中で優先度の高い路線として位置付けられています。

答 市道65号線を直進させ、市道1号線に繋げる計画の進捗は、この計画は、以前議会で取り上げ

られた経緯があります。この付近は数本の市道が短区間で交差する等煩雑な地形で、整備の必要性は認識しています。今後課題解決に向け関係地権者のご理解、ご協力をお願いすると同時に課題を整理し、事業実施に向け努力していきます。

駅東口の整備について

加藤 ただし

複合式

問 地権者や関係者の要望又は不安の一つに店舗の移転先があるが、当市の手助けとして、土地開発公社を活用し移転先を確保する方法は、如何か。

答 県からの要請、事業上の必要性などに応じて検討します。

問 駅通り停車場線及び中山道駅入口

交差点整備は、平成33年、駅前広場の完成の平成30年予定とのタイムラグによる問題点は。

答 大型車の円滑な進入が困難となるため、極力完成時期に差が生じないように前に合わせるように頑張ります。

問 駅入り口交差点から国道17号線間の市道の整備について。

答 駅通りの整備に合わせて、事業を進める必要があると認識しています。

問 ことぶき広場周辺の道路整備とその構想について。

答 地域の方からご意見、お考えをお聞きし、さらに計画案を煮詰めて整理し、お示しする機会をなるべく早い段階で創ります。

防災について

問 防災機能のあるスポーツ公園の必要性について。

答 防災という観点も必要なものと考えています。事業化に向け調査検討を進めながら、総合振興計画への位置づけをします。

問 燃料等の災害協定について、今後

災害が発生した場合、復旧作業等に必要な重機等の燃料の確保のため、関係機関との災害協定は。

答 現在、災害時のガソリン等の燃料の調達の協定は、提携していません。早期に協定が締結できるよう今後調整を進めます。

問 耐震化を促進するための見直しの取り組みについて。

答 関係団体と意見交換、他の自治体の状況を把握し計画の見直しを進めます。

空家対策について

問 特定空家等の指定や立ち入り調査、助言、指導、勧告、命令や行政代執行までの手続きに対応できるものとして、諮問機関である協議会及び根拠である法的手段が必要と考える。また、

チラシの配布やシルバー人材センターの連携協定も効果的な対策と考える。条例等も必要と認識しています。

答 早期対応できる体制を整え、早急に取り組めます。

交通安全対策の推進について

江森 誠一

複合式

問 交通安全施設整備の中で、点検整備の年間計画はどのような行っているのか伺う。

答 具体的な年間の整備計画の作成はしていませんが、限られた予算の中で対応しているため、地域の要望を優先し、その他に整備が必要な箇所とあわせて整備を行っています。

問 地域の要望を優先とのことだが、年間で要望件数はどの位寄せられるのか伺う。

答 年間で、道路反射鏡、街灯等の交通安全施設に関する要望件数が、平成27年度は87件、平成26年度は102件、平成25年度は115件です。

問 年間100件以上の要望がある中、整備を実施する際、優先順位はどう行っているのか伺う。

答 道路反射鏡及び

ません。

問 現在、自転車通学における生徒にヘルメット着用の決まりはないが、今後は着用の検討も必要と思うが、市の考えを伺う。

答 ヘルメットの着用は、事故の際、頭部への損傷、負傷を軽減する等、安全性の向上はあると考えています。交通環境の変化、交通ルールの改正、市条例の制定を踏まえ、ヘルメット着用の方角について、検討していく必要があると考えています。

問 現在市内において信号機設置の申請要望箇所は、何箇所あるのか伺う。

答 信号機設置申請要望箇所ですが、定周期式、押しボタン式右折信号など、全ての種類の信号機をあわせ市内全体で57箇所です。

問 また、設置完了までの期間は最短で約2年です。各中学校における自転車通学生徒数について伺う。

答 現在、桶川東中学校は26人、桶川西中学校は260人、加納中学校は148人で、桶川中学校は自転車通学はしていません。

西側大通り線開通に伴う安全対策について

新島 光明

複合式

問 西側大通り線の制限速度を50kmとした理由は。

答 制限速度は県公安委員会の権限で、市民からも要望があったが、高規格道路、開通済み区間の実勢速度を勘案し決定したと伺っています。市も速度遵守の徹底を依頼していきます。

問 上尾市内は制限40kmに対し、桶川市内は何故50kmなのか。

答 上尾市内が何故40km規制となったのかは、わかりません。高規格道路とは。基準はなく、生活道路と分ける意味で呼んでいます。

問 警察庁交通局長の発言によると、決定要因に歩行者交通量や通学路の有無がある。決定に際し話し合い等はないのか。

答 制限速度は警察

ないため、組合が塗り直しました。西小付近は信号が同時設置されたことから予定はありません。

問 「学童注意」標示の設置費用は。

答 詳細は不明ですが概ね10万円です。

問 区画整理組合といえ税金が投入されている。市の責任で設置すべきでは。

答 周辺状況を確認した上で、今後対応したいと考えています。

問 愛宕幼稚園からのバス道路の交差点に信号機の設置予定は。

答 現段階で設置は難しいですが、引き続き要望していきます。



西小通学路手押し信号

市街化調整区域の土地利用について

新井 孝雄

一括式

問 圏央道・上尾道路周辺の具体的な土地利用計画は。

答 市東部の加納原地区については、民間開発事業者との協定に基づき、企業誘致等の計画を進めています。

問 川田谷地区の土地利用計画については具体的な内容で進んでいないが、どのように考えるか。

答 市の総合振興計画では、複合開発エリアに位置づけられています。農林調整や関係機関の協議等あり、まずは住民の合意形成が大前提となりますことから、住民意向を尊重した適切な土地利用をしていきたいと考えています。

問 住民と市との相互情報交換等の場の設定についての考えは。

答 土地利用の可能性について、現時

点で考えられる課題や開発手法等について情報収集する必要があります。住民の合意形成が不可欠であることから、必要に応じ相互情報交換の場の設定を検討していきます。

生活関連道路や通学路の整備について

問 川田谷地区の圏央道完成までに、側溝整備や交差点改良等を行うとの当初の計画は。

答 計画当時要望書の提出があり、未対応の箇所等につきましては、確認をしながら順次対応を検討していきます。

問 通学路整備の状況と今後の施工計画は。

答 小学校7校では、安全対策必要カ所61カ所整備完了いたしました。今後、28年度に次

期安全点検をすべく、その準備を進めているところです。

問 圏央道の側道の危険カ所や高架下の道路照明の改善へ取り組みは。

答 28年度中には側道整備完了と聞いていますが、市への道路移管時までは不具合の無いように国と調整していきます。また、照明についても、交通・防犯の安全対策として、その対応を検討していきます。

循環バスの課題とデマンドバスの導入促進について

問 循環バス運行の改善やデマンドバス促進の取り組みについて考えは。

答 来年度に、本数や運行ルート等について、幅広く検討することを予定しています。また、デマンドバスについても、見直しの中で整理していきたいと考えています。

町会・自治会の加入促進策について

島村 美貴子

一括式

問 加入率と推移は。

答 平成25年度、75.38%、26年度、74.97%、27年度は73%です。

問 区長会・市、(公社)埼玉県宅地建物取引業協会彩央支部の3者による「加入促進に関する協定書」の内容と効果は。

答 市内の会員事務所店頭でチラシを掲示し、新規転入者や住宅購入者へチラシ配布を行うと共に、アパート等の管理、仲介の新規契約時に加入促進を行います。チラシが11月に完成したことから、今後、本格的に加入促進が図られると期待しています。

問 この協会に加入していない不動産会社との協定締結は。

答 現在、(公社)全日本不動産協会と協定締結に向け、話し合いをしています。大手不動産

会社は協会へは未加入ですが、大きな開発事業は、事前協議の際など、願います機会があります。

問 新規ではなく、既存居住者への加入促進策について伺う。

答 更新の際にチラシを配布するなど、何らかの機会を活用し、対応します。

西側大通り線とさいたま鴻巣線及び滝宮線交差部の渋滞解消策は

問 朝夕、休日の渋滞解消策と右折信号の設置について。

答 渋滞の原因として、信号機の設定時間や右折車の直進レーンへの滞留が考えられます。年度末を目途に、渋滞が解消され、円滑な通過交通が図られるよう、周辺の信号機を含め対策を講じる予定です。

右折信号設置について

は、引き続き要望します。

貸し傘設置で回遊性の向上を

問 駅西口自由通路に無料の貸し傘を設置することへの見解を。

答 他市の事例を調査、研究します。

問 公共施設などに設置箇所を増やし、観光を視野に入れた回遊性の向上について、調査研究を。まずは、試験的に駅の自由通路へ導入を行うことについて、再度伺う。

答 観光協会に提案したいと考えています。



新電力への対応について

佐藤 洋

複合式

問

少ない電力でも自由に買えるような電力の自由化が始まり、いよいよ来年から自分で電力が選べるようになる。「少し負担は多いが、社会的貢献をしたいから、こっちの電力を選ぶ。」というような、こんな時代になろうとしているが、

答

①桶川市としての対応は。②広域の電力の考え方は。

①建設事業が始まり、本年から仮設庁舎で業務をしている状況で、電力調達には、新庁舎が建設された一年間程度は電力の実績を積み上げ、料金メニューや供給条件なども考慮しながら、新電力の導入を視野に入れ検討していきたいと考えています。

問

組んでいる状況です。電力システム改革に関する国の動向、先進地の実態などを踏まえながら、今後の対応をしていきたいと思っています。

答

庁舎が新しくなるが、市役所だけではなく、全小中学校52校で既に新電力をやっている。

桶川市の工業団地内に、CNSのガスの本管が通っており、それを引くことで発電が可能になる。地域別に地産地消で電力の小規模な発電装置をつくってくれる可能性は非常にあると思う。そういった動きに

対し、十分な配慮をしていく考えはあるか伺いたい。

答

地域の動きにも注視するとともに、関係機関との連携を図りながら、行政として何ができるのか情報を収集し、前向きに検討していきたいです。

問

桶川小学校グラウンド

桶川小学校のグラウンドは、学校行事だけではなく、コミュニティの中心の場所という意味もあるが、改善策は。

答

大雨のたびに雨水の浸透性など水はけが悪く、何日も校庭が使用できず、学校の授業や行事、地区の行事などにも影響しているため、雨水排水修繕を一部行ってきました。今後は、コースロープ周辺の段差やフェンス側への土の流入とあわせ、グラウンドの排水について検討します。

新庁舎建設オリンピックまで延期し見直しを

北村 文子

複合式

問

新庁舎基本設計契約書は工事費34億円とあるが、工事費が41億に上がった。特記仕様書は無視してよいのか。

答

あくまでも概算という事で委託しています。

問

これから委託契約はすべて概算ととらえて良いのか。契約後に業者が34億から「40億になった」と言ったら、よしよし、となるのか。

答

通常ならばちゃんと設計書を組み

問

今回は概算で載せましたが、特記仕様書に概算と書いてない。

答

ところで、プロポーザルで日本設計を採用した講評は、「免震層を兼ねた地下駐車場で地上部のボリュウムを抑え、敷地や周辺環境、地域特性への理解が最も深い提案であると感じた」と。

問

一方、ピロティー形式提案のA者は「来庁者の利便性を考えた際、執務スペースが2階以上となる点に疑問を感じた」とあり、今回の設計は委員が疑問を感じた設計だ。パブコメでも過半数がピロティー案に反対している。市長はご存じか。

答

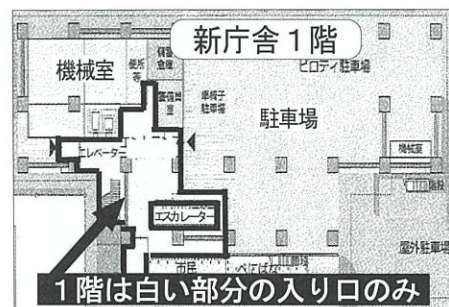
報告は受けていますが、建築費を削り、機能的な庁舎を建てる選択だったと認識しています。

問

地下駐車場百台を無くし、5億を削減したが、今回3億2千万円で用地を買い、駐車場を増やす。結局同じことだ。総額この庁舎は

答

庁舎の解体や本体工事を含め、約50億弱と試算しています。エスカレーターで登り、2階から始まる市役所には私の会



答

った高齢者全員が「ダメだ」と言った。ユニバーサルデザインではない。私どもは法規にのっとって進めていきます。

問

国立競技場のように見直す勇気を

答

オリンピックで建築費が相当上がると言われている。国立競技場も見直し、内閣支持率がぐんと上がった。1年でも伸ばし、見直しができないか。物価は今そんなに動いていないので、早々に3月等に契約したいと思っています。

第6回議会報告会を開催しました

桶川市議会では、市民の皆様には議会に決定した内容や経過などを説明し、議会活動についての状況を知っていただくために、議会報告会を開催しています。

平成27年10月17日(土)に勤労福祉会館において「第6回議会報告会」を開催し、14人の方にご参加いただきました。

なお、報告会では、全ての内容についてご説明できませんが、詳細については、市議会ホームページでご覧いただくことができます。

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

◆アンケート集計結果

1) 回収:9枚(参加者:14人)

2) 性別・地区別等について

① 性別は

男	7人
女	2人

② 参加回数は

初めて	6人
2回以上	3人

③ お住まいの地区は(※受付簿から)

桶川(東)	6人	桶川(西)	6人
加納	2人	川田谷	0人

3) 年代は

20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0人	0人	0人	1人	4人	4人

4) 議会報告会に参加した感想をお聞かせください。

① 開催の評価は

評価する	8人
どちらともいえない	1人
評価できない	0人

② 説明については(※無回答1人)

分かりやすかった	2人
どちらともいえない	5人
分かりにくかった	1人

5) その他ご意見がありましたらお聞かせください。

- ❖ 全6回参加していますが、続けられている事を評価します。
- ❖ 参加のPRに工夫していただきたい。
- ❖ 一般参加者と議員皆様方との説明内容に対しての精通度はとてつもない格差があり、従って双方とも貴重な時間を費やしての催しのため、もっと参加者の立場になった説明手法を考えて頂きたい。例えばオーバーヘッドを使い、目と耳を使った報告会にしていただきたい。
- ❖ ペーパー配付するなら明記のないことは極力省いて(説明して)欲しい。
- ❖ ペーパーレスに努めて欲しい。
- ❖ 資料不足で分かりにくい。
- ❖ 説明は委員会で差があり、分かりやすいものとそうでないものがある。
- ❖ 初めての参加でしたが、また参加させていただきます。

◆主な質疑・回答・要望等(抜粋)

決算特別委員会の報告への質疑

Q 資料を用意して欲しい。

A 議会報告会の開催を早めたため、議会だよりが間に合いませんでした。

Q 380億の決算の審議時間は。

A まとめの日も含め、6日間(30時間超)で行いました。

総務常任委員会の報告への質疑

Q マイナンバーは、カードの更新にいくらかかるのか。

A 全員に届く「通知カード」は、更新の必要はありません。大切に保管してください。申請によって受け取る「個人番号カード」の有効期限は10年(20未満は5年)で、その際に更新手数料が必要になると思います。が、まだ国の方針は決まっています。

Q マイナンバーが付くと住基カードはどうなるのか。

A 現在お持ちの住基カードは、その有効期限まで使えます。(最長10年)

Q マイナンバーが付くことで口座の金額や個人の家の情報がすべて管理されるのか。

A マイナンバーは、国の行政機関や地方公共団体(市役所など)で社会保障、税、災害対策の分野で利用されます。国は、国民の利便性が高められるものを段階的に取り入れていこうと考えていて、今後どういった分野に活用したらいいか検討しているようです。

Q 自転車の安全利用についての中身と罰則規定は。

A 道路交通法の改正に合わせ、自転車の利用に際し安全に通行していただけるよう定めたもので罰則規定はありませんが、自転車利用者の責務として、安全知識の習得、個人賠償保険への加入(月額120円)、定期点検や整備に努めることなどを規定しています。

建設文教常任委員会の報告への質疑

Q 路線の認定と廃止については、おおまかでいいから場所がわかるような資料を出して欲しい。

A 次回から準備します。

Q 工事契約について、なぜ当初予算ではなく急に出了のか。計画的にやらないのか。

A 当初予算に計上し計画的に行っています。1億5千万円以上の契約を行う場合は議会の議決が必要となるため、事前に議案として提出されました。

Q 江川改修の国への意見書についてだが、市としては事故後何か対策を講じたのか。カラーコーンを置くだけでは風で飛ばされてしまうが。

A 緊急対策として、浸水の恐れのある箇所にポールを立て、そこに鎖をつけて道を塞げるようにしました。

市政全般に対する質疑

Q 議会にメールすると市を経由するのは何故か。議会や監査は独立しているのにおかしい。どうして分けないのか。

A 市のホームページに一括することで、大幅な経費削減となるからです。

Q 桶川市の借金はいくら。年にいくら返済してるのか。

A 借金は約200億円です。年に約20億円返済しています。

市政全般への意見・要望等

❖ 予算は常任委員会で決算は特別委員会で審議するというのではなく、同じメンバーで行うのが効率的だ。無駄な予算がみつかりやすい。

❖ 議案が委員会ごとに飛ぶので議案番号の付け方を工夫したらどうか。資料は委員会ごとにまとめたほうが良い。

❖ 新庁舎は喫煙所をなくして欲しい。

❖ 新庁舎基本計画でモニター中継が可能とあるが実現して欲しい。

❖ 委員会室での会議も中継して欲しい。金がかかるのなら委員会も議場でやって欲しい。

声の市議会だよりのご利用を

桶川市議会では、ボランティアの皆さん(紅花の会)のご協力により、「声の市議会だより」を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

定例会のお知らせ

3月定例会は、2月23日(火)から開催する予定です。
議会を傍聴しましょう。
詳細な日程は、市議会ホームページでご確認ください。

◆12月議会本会議傍聴者数

月 日	男	女	計
12/11	3	0	3
12/18	2	2	4
12/21	12	15	27
12/22	10	12	22
12/25	2	0	2
合 計	29	29	58

◆第7回議会報告会 開催のお知らせ

開催日時

平成28年 2月13日(土曜日)
午後2時～ (1時間半程度)

開催場所

市役所分庁舎 会議室1
※上日出谷 仮設庁舎となり

報告概要

12月(平成27年 第4回)
定例会の内容について



初議会の様子

会議録はインターネットで公開しています。

桶川市議会では、議会の内容や議員の紹介をはじめ、『会議録検索システム』により定例会・臨時会・議案や請願審査を行った委員会の会議録を公開しています。また、検索システムからは『議会日程』や『一般質問』など、順次公開しています。ぜひご覧ください。



桶川市ホームページ



市議会



桶川市議会HP

桶川市議会ホームページアドレス

<http://www.city.okegawa.lg.jp/gikai/index.html>

編集後記

“明るく、楽しく、元気よく”子供も大人も毎日がそうでありたいものだ。それにはまず、心身ともに健康が第一。

桶川市の責任ではないが、昨今の現実は大変厳しく年金の手取りは減少をたどる。消費税も29年から10%になる。富を得る者、得られない者の格差は大きくなるばかり。納税率県下トップを誇る市民税が桶川市の財政の多くを占める。行政は貪欲に市民税以外の収入を得る対策が急務だ。目に見える駅東口整備はその一つだ。併せて地域の方の心労を思わずにはいられない。(渡邊)

議会だより編集委員会

委員長 相馬 正人
副委員長 保坂 輝雄
委員 渡邊 光子
委員 岡野 千枝子
委員 星野 充生
委員 新井 孝雄
委員 白田 喜之
委員 仲又 清美